

## 諫早総合病院地域医療支援病院運営委員会・地域協議会

### 平成28年度第4回会議議事録

日 時：平成29年2月23日（木）14:00～  
会 場：諫早総合病院 6階大会議室  
書 記：総務企画課 榎並竜大

○参加者 別添資料のとおり（院外10名・院内4名・事務局3名）

#### 《議 事》

##### [1] 紹介率・逆紹介率について・・・・・・・・・・・・ 1-8頁

10月の初診患者数957人に対し、紹介患者数857人で紹介率は89.5%、逆紹介患者数985人で逆紹介率は102.9%

11月の初診患者数936人に対し、紹介患者数836人で紹介率は89.3%、逆紹介患者数972人で逆紹介率は103.8%

12月の初診患者数831人に対し、紹介患者数749人で紹介率は90.1%、逆紹介患者数924人で逆紹介率は111.2%

(長郷院長)

紹介率について循環器内科・泌尿器科の件数が伸びている。

逆紹介について12月は年末の退院等が多かったこと、紹介数が少なかったことで逆紹介率が高くなっている。

また、消化器内科・小児科の逆紹介件数が多めになっている。

##### [2] 救急患者・外来患者について・・・・・・・・・・・・ 9-11頁

救急外来患者数は10月598人、11月611人、12月629人と前年度比較で増加傾向となっている。

救急入院患者数は10月291人、11月312人、12月344人と前年度比較で増加傾向となっている。

1日平均外来患者数は10月660.6人、11月646.2人、12月676.5人。

(長郷院長)

科別で見ると呼吸器内科・耳鼻咽喉科が若干多めであるが、外来数も大きな変化はない。

(県央保健所 今里様)

救急患者とはどこまでを指すのか。

(事務局)

救急車及びウォークインでの来院患者数の合計となっている。

(諫早医師会 佐藤様)

長崎医療センターは救急車来院、ドクターへリ来院、ウォークインを別々に表示している。

(長郷院長)

次回から当院も別々に表示します。

### [3]共同利用（開放型病床利用等）について・・・・・・・・・・・・ 12頁

共同利用を行った医療機関の延数14、そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延数14で協働利用率100%。対象病床数3,850床、利用病床数143床、共同利用率3.7%となっている。

(長郷院長)

例年と変化なく、CTは順調に利用されている。

(元諫早市教育長 立山様)

MRIの1日あたりの利用件数は。

(長郷院長)

1日15件程度。なかなか予約が入らない状況。

### [4]諫早市こども準夜診療センターについて・・・・・・・・ 13-14頁

患者数は10月295人（9.52人／日）、11月311人（10.37人／日）、12月345人（11.13人／日）となり、11月・12月が増加している。

例年並みとなっており、地区別もほとんど変化なし。

(県央保健所 今里様)

インフルエンザは長崎県内70病院を対象に定点観測の調査を行っており、2月に警報を出している。ピークは過ぎていると思われるが、全国的に比較したら長崎県は遅れているので、しばらく注意が必要。

### [5]患者相談実績について・・・・・・・・・・・・ 15頁

前年度比較として、転院・転所に関する相談と認知症センター関係の相談件数が増加しているため、全体としても大幅に増加した結果となっている。

(元諫早市教育長 立山様)

在宅ケアに関する相談は『今後も自宅で看ていきたい』と『もう家では看ることができない』相談のどちらが多いのか。

(事務局)

連携室が調整介入したケースでは自宅に退院する割合と転院や施設に退院するケースの割合は五分五分。

(諫早医師会 佐藤様)

有料老人ホームなど統計上は在宅とみなす施設もある。

(長崎県看護協会 中村様)

転院・転所に関する相談状況は最近で変わってきているのか。施設にスムーズに受け入れてもらっているのか。

(諫早医師会 佐藤様)

今も待機の状態となっている。包括ケア病床やショートステイを利用しつつ特養待ちとなっているのが現状。

#### [ 6 ]研修会開催状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16 頁

医師等の症例検討会を 19 回、医師以外の研修会等を 38 回実施した。

#### [ 7 ]その他

(事務局)

平成 28 年 9 月において逆紹介先の医療機関の調査を行なったので、報告。紹介患者 1, 231 人に対し、紹介元医療機関へ紹介した数 1, 172 件で 95% であった。紹介元医療機関以外を紹介した数が 46 件で 4% であった。内、紹介元への連絡済みは 34 件、紹介元への連絡なしは 12 件であった。紹介元以外へ紹介した理由としては、「専門的治療のため高度急性期病院を紹介」、「長期療養目的入院のため療養型病院を紹介」、「リハビリのため」、「紹介元がかかりつけでなかった為、かかりつけへ紹介」等であった。

(諫早医師会 佐藤様)

紹介元への連絡なししが無くなるように、返書の管理などをしっかりともらいたい。

(諫早消防署 平野様)

平成 28 年度の救急件数をまとめたので報告します。

県央地区で 10, 792 件となり、内訳として諫早支署で 5, 677 件、大村支署で 3, 562 件、小浜支署で 1, 553 件となっている。その内、諫早総合病院へ搬送した件数は 2, 215 件となった。

ほとんどの病院が搬送件数増となっている。(西諫早病院は減、長崎原爆諫早病院は増)

(事務局)

当機構の方針で『地域協議会を年に複数回実施すること』となっているため、今後 8 月及び 2 月の 2 回は地域協議会も同時開催とさせていただく。

また、構成メンバー等当院ホームページに掲載することとなっているため、お願いしたい。(全員同意)